

日本微生物資源学会 第12回大会 報告

大会長 NBRC / NITE 鈴木健一郎

本年度の大会は JSCC として第 12 回となり、6 月の 20 日から 22 日までの 3 日間にわたり千葉県木更津市のかずさアークで開催された。ようやく私ども NBRC も大会のお世話をさせていただけるまでになったという感慨もある。(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部 (NITE-DOB) の生物遺伝資源部門 (NBRC) は平成 14 年 4 月からこの地で事業を開始してから 3 年が経過した。この緑多きかずさアカデミアパークは、千葉県が研究所などを誘致するために開発したサイエンスパークで、その中心となるかずさアークはコンベンションセンターとしては十分な規模と設備を持っている。東京駅から東京湾アクアラインを通る高速バスならば 1 時間ほどで到着し、はじめて訪れた方には意外と近かったと感じられたのではないかと思う。

大会は、例年に準じ、3 日間の行事とし、1 日目には理事会および各委員会、2 日目に大会、3 日目にシンポジウムというプログラムとした。例年では一般講演は口頭発表によって行われていたが、会員同士の情報交換の時間を増やすため、ポスターセッションを中心とすることにした。合わせて、本学会の特徴の一つである機関会員に、それぞれの微生物系統保存事業の活動状況を紹介していただくポスターの展示をお願いした。これには 25 ある機関会員から 17 機関が発表して下さった。総会では役員の任期満了に伴う新体制が承認され、会長は千葉大学の西村和子教授から理研の辨野義己氏に引き継がれた。また、恵良田眞由美会員に学会技術賞が贈られた。大会の最後に特別講演としてかずさ DNA 研究所の田畑哲之副所長に「かずさ DNA 研究所におけるゲノム解析とリソースの整備」と題してお話をいただいた。同研究所はかずさアカデミアパークのシンボルであるが、内容も JSCC の特別講演にふさわしい時を得たものであったと思う。懇親会では同研究所の大石道夫所長にもご挨拶いただいた。シンポジウムは微生物資源の産業利用と題し、NITE との共催で企画し、6 演題をお願いした。3 日目の午後には私どものかずさの施設をご覧いただくための企画も設けた。かずさアークからは徒歩で 10 分程度の距離で、アカデミアパークの中では最も近い施設の一つである。NITE は、経済産業省所轄の独立行政法人として、有用な微生物の利用環境を整備して企業等による産業利用の促進を目指している。微生物の利用に関心が高まり、微生物系統保存事業が注目されることは JSCC にとっても意義のあることであると考えており、本大会において微生物資源を開発する側と利用する側が一堂に会し、両者の接点として役立つことができれば、大会をお世話した者として大きな喜びである。

プログラムの詳細は後の記事に譲るとして、ハイライトはこの大会で東京大学名誉教授の駒形和男名誉会員にバーギーメダル (Bergey Medal) を贈ることができたことである。このメダルは細菌分類学のバイブルとも称される分類書 "Bergey's Manual" の発行元の財団が細菌分類学に貢献した研究者に贈るものであるが、元会長として JSCC の発展にも貢献して下さった駒形先生への贈呈式が JSCC の会員の前行われたことは大変よかったと考えている。

今回の大会では、いままで学会の運営に貢献してこられた名誉会員の方々および、学会を支援して

いただいている賛助会員の方々には懇親会を含め、参加をご招待とした(賛助会員には1機関1名)。また、微生物の取扱あるいは検査のための機器を扱っている企業に展示をお願いした。微生物の系統保存事業という共通部分の多い活動で情報交換の促進に役だったのではないかと考えている。

会期を通じ、大会には約150名、シンポジウムには約200名の参加者がありました。これは大会トップクラスの参加者数と思われる。さらにNITEバイオテクノロジー本部の見学会には約90名の方にご来訪いただきました。NBRCを代表して大会、シンポジウム、そして見学会にご参加いただいた方に厚く御礼を申し上げます。

木更津市も地方都市としてドーナツ化が進み、交通の便のアンバランスがあります。また、シンポジウムの朝にはあいにくの雨となり、私どもの経験した最大のイベントとして経験不足も災いし、参加された皆様にご不便をおかけした部分もあったかと思えます。JSCCとしてのイベント、あるいはかずさ地区でのイベントとしてお気づきの点があれば遠慮なくご教示下さい。是非今後に役立てさせていただきたいと思えます。最後に、本大会の開催をご支援下さったJSCC前会長の西村和子先生、同理事会のメンバー、NITEバイオテクノロジー本部の宮崎正浩本部長、磯野克己特別顧問、原山重明部門長、そして実行委員として大会の準備と運営にご協力いただいたNBRCの皆様にも厚く御礼申し上げます。

日本微生物資源学会第12回大会プログラム

会 期：平成17年6月20日(月)～6月22日(水)

場 所：かずさアカデミアホール202会議室

〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9

大会事務局：(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部生物遺伝資源部門(NBRC)

〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-5-8

シンポジウム：(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部と共催

スケジュール(かずさアカデミアホール内開催場所)

6月20日(月)	10:15～12:00	理事会(104)
	13:00～14:30	実務担当者会議(202B)
	14:30～15:30	カルチャーコレクション委員会(202A)
	15:30～17:00	カタログ編集小委員会(104)
6月21日(火)	9:40～12:00	一般講演(8題)(202B)
	12:00～13:00	昼食(会誌編集委員会)
	13:00～14:00	ポスター発表・休憩(ホワイエ・202A)
	14:00～15:00	総会・授賞式(202B)
	15:00～15:20	学会技術賞受賞講演(202B)

15 : 20~16 : 20 ポスター発表・休憩 (ホワイエ・202A)
16 : 20~17 : 20 特別講演(202B)
17 : 30~19 : 30 懇親会

6月22日(水) 9 : 15~12 : 30 シンポジウム (6題) (202)
12 : 30~13 : 30 昼食
13 : 30~15 : 30 NITE バイオテクノロジー本部見学会

参加費など

参加費 会員 3,000 円, 非会員 5,000 円

懇親会 4,000 円

シンポジウムのみ参加は無料

